

平成23年度 大学の世界展開力強化事業構想の概要【キャンパス・アジア中核拠点形成支援】

| | |
|----------------|-------------------------|
| 大学名 | 一橋大学 |
| 構想名称 | アジア・ビジネスリーダー・プログラム |
| 相手大学等名 (国名) | 北京大学 (中国) ソウル大学 (韓国) |

【構想の目的及び概要】

一橋大学大学院国際企業戦略研究科 (ICS) と北京大学光華管理学院 (PKU) 及びソウル大学経営学部・経営専門大学院 (SNU) は、将来の日本、中国、韓国の経済界のビジネスリーダーを育成するために協働教育プログラムを策定する。本プログラムは、日中韓のビジネスシステムの知識を集積し、グローバル化した企業内で活躍するための専門知識を磨き、3大学の学生、教員相互の緊密な関係を構築し、ICS、PKU、SNU の個々のカリキュラムと成績評価及び単位認定基準のチューニングをさらに促進すると同時に、他大学に対し新たなモデルを提示することができるものである。

本プログラムは**アジア・ビジネスリーダー・プログラム (ABLP)** と題され、経営学修士 (MBA) 課程の学生を対象としている。プログラムは、学期間交換留学プログラム、ダブルディグリー・プログラム及び短期集中プログラムの3つの教育プログラムから構成される。毎年12名の交換留学生 (各大学から4名ずつ) とダブルディグリー・プログラムの学生6名 (各大学から2名ずつ) 及び毎年約30名の学生が3週間の短期集中プログラム「Doing Business in Asia」(アジアにおける事業経営) に参加する。これらの教育プログラムのサポートプログラムとして日中韓の企業インターンシップである「ビジネス・フロンティア・インターンシップ・プログラム」、3カ国の主要企業のCEOによる講演を行う「グローバルCEOフォーラム」、東アジアのビジネスに関して2年に1回開かれるBESTシンポジウム、継続中のBEST提携研究プロジェクト (ICS、PKU、SNUの教員のチームによる共同研究) 等がある。

本構想の目的は以下の3点である。1) 東アジアに適したビジネスモデルとリーダーシップのスタイルについて、日中韓の将来のビジネスリーダーを教育するためのカリキュラムを開発する。2) 教育の質に関する共通の基準 (学生の評価、カリキュラムの評価、3大学間の単位認定に関する基準) を作成し、アジア地域に合わせた教育を提供することによって、アジア企業の将来のための人材を育成する。3) 3大学の協働教育の成果報告及びその他のメディアを活用した社会普及活動を通じて日中韓のみならず他のアジアの高等教育機関の連携のさきがけを目指し、ビジネス教育プログラムの協働教育モデルを提供する。

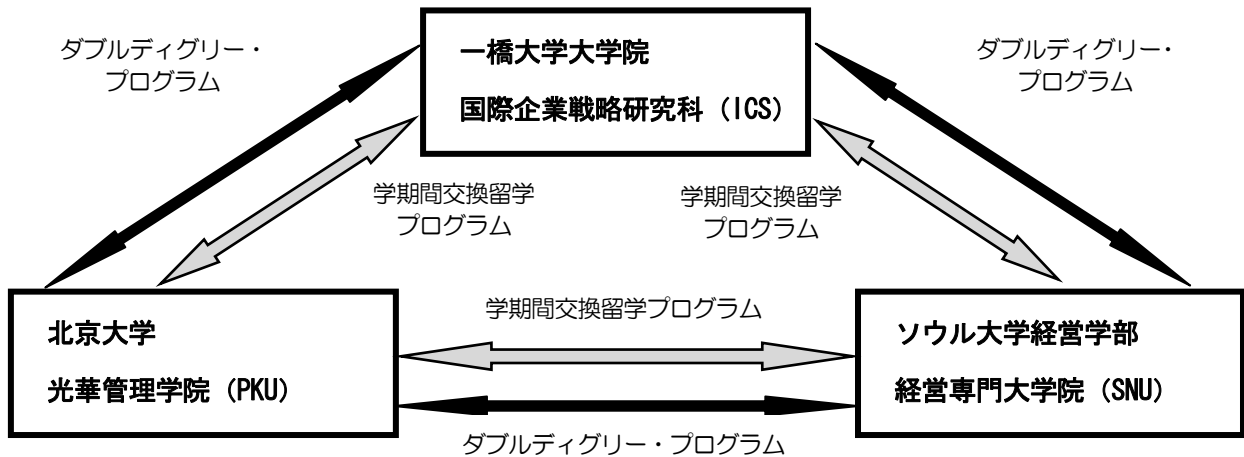
これらをサポートする枠組が、ICS、PKU、SNUの間で教育と研究を提携することを合意した**BEST ビジネス・スクール提携協定**である。2011年1月に締結されたこの提携協定を通じ、ビジネス・スクール3校は既に非常に緊密な協議を始めている。各大学の研究科長及び担当教員で構成されるBESTビジネス・スクール提携協定の運営委員会が、このプログラムの管理を行う。また、3カ国のビジネスリーダーと政府関係者からなる諮問委員会が助言と点検評価を行う。さらに、各大学がABLPの教員ディレクター1名とプログラム・ディレクター1名を任命する。

ICS、PKU、SNUは、日中韓の教育協力を更に推進するための裏付けとなる実績があり、日中韓における「質の保証を伴った大学間交流・連携ガイドライン」に沿った交流プログラムを実現することが可能である。その根拠としては、第一に、3大学はBESTビジネス・スクール提携協定の確立に共同で取り組み、1年間の協議とプログラム設計を重ねた結果、2011年1月に合意に至った実績がある。第二に、3大学は、グローバルMBAプログラムとして実質的に同等なカリキュラム、成績評価方式及び単位認定システムを備えている。第三に、3プログラム全てに英語によるMBAプログラムが用意されている。各大学の教員とプログラム・ディレクターは高い英語力をもち、教材と学生に関する各種資料は英語で作成されている。第四に、3大学は交換留学生の受け入れならびに海外への交換留学生の派遣に関して十分な経験を備えている。

[構想の概念図]

アジア・ビジネスリーダー・プログラム (ABLP)

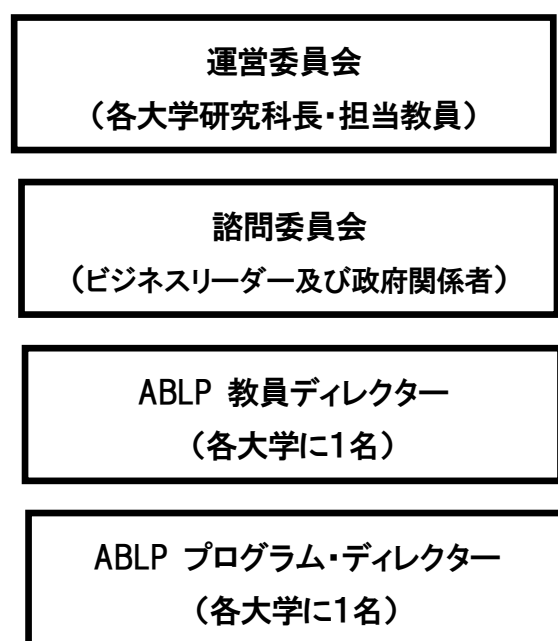
教育交流プログラム



教育研究支援プログラム



管理・運営



平成23年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

| | |
|---|--------------------|
| 大 学 名 | 一橋大学 |
| タ イ プ | A-I |
| 構 想 名 | アジア・ビジネスリーダー・プログラム |
| <p>〔評価コメント〕</p> <p>日中韓3大学の連携実績もあり、経営大学院間の協同による東アジアのビジネスリーダー育成のビジョンも明確に示されている。英語によるカリキュラムの開発やそれを支える共同研究についても十分実績がある。</p> <p>とりわけ、東アジアでしか取り組めないアジア版MBAの確立は、地域ぐるみで取り組む人材育成のモデルになる。それぞれの国でケースをベースにした学習を行い、ダブルディグリープログラムにまで結び付ける構想は高く評価できる。</p> <p>また、産学連携の基盤もすでに確立されているので、それを生かしたプログラムの開発、そして日本人学生の拡充にも工夫しながら今後の発展に期待したい。</p> <p>なお、現時点では開発されるカリキュラムの具体的な特色が十分に明確にされているとは言えないため、さらなる検討が求められる。</p> | |